



- 7月例会・通常総会
- 8月例会・通常総会
- サマーコンファレンス 2022
- 九州コンファレンス in 糸島
- 第41回全国城下町シンポジウム福山大会
- 特集! 次年度理事長予定者インタビュー
- 創立60周年式典について

7月例会・通常総会

7月21日（木）に7月例会・通常総会を開催しました。

早いもので今年も折り返し地点がはじまっております。

7月通常総会では、多くのOBの皆様に見守れる中、2023年度理事長予定者に古館剛君が選任されました。また、次年度執行部予定者も選任され、副理事長に松下啓君、吉岡倉佑君、室長に米村和矩君、井上智美君、中野雄二君、栗山拓也君、専務理事に宮丸圭祐君、監事に大崎翔太君、玉置大輔君となりました。次年度理事長予定者挨拶では、古館剛君が自身のJC活動を振り返り、熱い想いを語っていただき、また、次年度への決意表明を語っていただきました。次年度がどのようなカラーになるかとても楽しみです。ご多忙中の中、たくさんのOBの皆様にも例会・総会、そして懇親会までご参加いただきましたこと心よりお礼申し上げます。

総務・広報委員会委員長 井上 智美



8月例会・通常総会

8月例会・通常総会が8月22日（月）に開催されました。

委員会タイムでは次年度理事長予定者を深く知るために【リーダーズインテグレーション：プロフェッショナル「剛」の流儀】と題し、メンバーから事前に集めた疑問をファシリテーター役である総務・広報委員会 脇山尊将君より質問していただきました。次年度に向けた話や、JCに対する想いを聞くことができ、次年度理事長予定者の人柄を知る機会になったと思います。

8月通常総会では、次年度理事予定者が選任されました。理事予定者の中には新入会員や、初理事のメンバーが多く揃いましたが、安心感のあるメンバーがそろっております！

7月例会・通常総会に引き続き、ご多忙中の中多くのOBの皆様にご参加いただきありがとうございました。

総務・広報委員会委員長 井上 智美



次年度理事長予定者へインタビュー

8月例会の委員会タイムで行われた【リーダーズインテグレーション：プロフェッショナル「剛」の流儀】では事前にメンバーからアンケートを集計いたしました。時間の都合上委員会タイム内で紹介できなかった質問に、次年度理事長予定者に答えていただきました！次年度理事長予定者の考えや想いを共有し、次年度への新たな一歩としましょう♪

拡大についてどのようにお考えですか？

会員拡大はこれまでと変わらず、力を入れて全メンバーで取り組んでいくべき重要課題だと考えます。年間を通して会員拡大に取り組める体制を整え、「必ず拡大を成功させる」という強い想いをもって、結果にこだわった会員拡大を行います。

次年度理事長予定者が考えるこれからの唐津JICのあり方とは？

まずは、会員一人ひとりが唐津JICの一員であることに誇りを持って活動してほしいと考えています。創立から60年たっても目的は変わりません。「明るい豊かなからつ」の実現に向けた原動力となるべく、自尊心を持って活動していきましょう。

次年度で特に力を入れたいと考えている事業はありますか？

すべての事業を全力で行いますが、強いて言うならばブロック大会主管LOMとして佐賀ブロック協議会における唐津JICの存在意義を示し、市民のみならず県民に対して力強く運動を発信したいと考えています。

今までの唐津JICと違った変えたい習わしはありますか？

「変えたい習わし」はありませんが時代にあった活動を行えるよう、組織を常に「より良い」姿にアップデートする意識は必要だと考えます。役職に関係なく、組織の在り方について議論し合える関係性を多くのメンバーと作っていきたく思います。

コロナ禍でのJIC活動についてどう思われますか？

どのような状況下であれ、自分たちができること・やるべきことを考え、行動するのがJICの使命です。コロナ禍だからこそできることもあると考えます。今までの手法にとらわれず新しいチャレンジをして、自らを成長させる機会にできるようなポジティブな姿勢で活動したいと思っています。

新しく挑戦してみたい事はありますか？

理事長という役職への挑戦は今までのJICライフで最も大きな挑戦です。しっかりと勤め上げることでできるような応援よろしく願います。プライベートではダイエットをしたいです。

唐津市民全員参加できるイベントや企画の意向をお聞かせください。

個人的には「カレラの王者決定戦」のような規模の大きな事業への参加は好きな方です。しかし、「人を多く集める」ことを目的とした事業構築ではなく、参加者に何かの「変化」を起こすための事業を開催することが大事です。

『成長』がキーワードとお話しになりました。特に重視される成長分野はどのような分野でしょうか？

自分の中では、リーダーシップを発揮すること、モチベーターとしての成長を意識しています。自分が得意な分野を活かすことはもちろん、それぞれが自分を見つめ直し、「ここが伸びればもっとイケてる自分になれる」というポイントを見つけ出して各々成長を意識してもらえれば組織としては大きく成長できると思っています。

次年度1年間JIC活動の中で予測されている不安なことはありますか？

組織としては不思議と不安はありません。むしろ期待の方が大きいです。個人的にはスピーチが苦手ですので不安ではありますが・・・修煉ですね。「何回もしゃべらんやけん、そのうち慣れるばい」という先輩代理店長の言葉を信じて自分の覚醒に期待しています。

2023年度はJIC活動を通してSDGsにどのようなアプローチをされますか？

目的に沿って活動・運動を行えば意識せずともSDGsに合った内容になるものと考えています。

JICはこれまでも世界的な視野を持ち、持続可能な活動・運動を展開してきたと考えています。個人的には『SDGsへの取り組み』から『からつ』の発展、世界平和』ではなく『からつ』の発展、世界平和への寄与『SDGs』くらいの認識です。

勧誘活動について、どのような仲間が欲しいですか？

賛況は言いません。入会してくれたらみんな仲間です。新しい仲間と一緒に成長していきたいと思っています。



2023年度でこれだけは絶対達成したい事などありますか？

漠然としていて申し訳ないですが・・・忘年会をみんなの最高の笑顔で迎えたいです。反省はしても後悔はしたくないし、してほしくない。みんなを支え合って、全力で一年を走り抜けたいです。

行政との連携や他団体との協働についてどう思いますか？

特に「まちづくり」という観点では必要不可欠だと考えます。組織としてどのような「まちづくり」をしていくのか、中長期的なビジョンをもとに半年度制の中でどこまで踏み込んでいけるのか、私自身楽しみです。

出向に関する施策はされるお考えはありますか？

佐賀ブロック大会主管LOMとしての気概と覚悟を強く持っておりますが、出向に関する施策までは考えていません。トップダウンでの半強制的な出向は自分の求める形ではないので、自発的な出向に期待しています。

何か前例のない新しい事を考えていますか？

私は「古館剛が理事長をすることだけでも前例はありません」というような屁理屈を言うような人間です(笑)。目に見える大きな形にはならないかもしれませんが、新しいメンバーで作る事業の細部に自分たちにしかできない、自分たちだからできるというエッセンスを散りばめたいと考えています。と言いつつ、たぶん何かやりますよ。期待しててください。

来年ブロック大会がありますが、主管LOMとしてどのようなブロック大会にしたいと考えていますか？

色んな意味で「魅せる」ことができたらいいなと考えています。「からつ」の魅力の発信はもちろん、唐津JICの存在意義、メンバーの個性や能力、JICの持つ可能性などを内外問わず力強く発信していきたいです。さすが唐津JIC、やっぱり唐津JICだと言わせてみせます！

2023年度JIC活動を行うなかで、メンバーに波及させたいこと、こうなってほしいと願っていることはありますか？

もっと自信を持ってほしい。もっと自分を出してほしい。もっとポジティブになってほしい。もっと仲間を頼ってほしい。もっと仲間のために行動してほしい。もっと楽しんでほしい。もっと挑戦してほしい。欲張りなので、たくさんありすぎて書ききれません。

サマーコンファレンス 2022

2022年1月、京都会議において「その不安を、希望に変える」というテーマのもと公益社団法人日本青年会議所 2022年度の方向性が示されました。

サマーコンファレンス 2022 ではこの方向性に対して

①不安解決の運動を推し進めてきたJCI日本の発表

②地域特有の課題に向き合い課題解決を進めてきた各地域からの発表

という2つの道筋から具体的な解決策を発信します。サマーコンファレンス 2022は、そのような社会課題を解決し、人々を幸せにするしくみ、幸せを生み出す装置の大見本市です。



しくみの数だけ、幸せがある
—サマーコンファレンス 2022 テーマ—



九州コンファレンス 2022in 糸島



8月19、20、21日に九州コンファレンス in 糸島が開催されました！

九州の「未来」について考えるフォーラムがいくつも開催され、非常に学びある機会となりました。



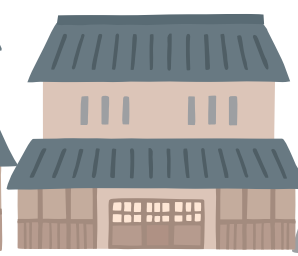
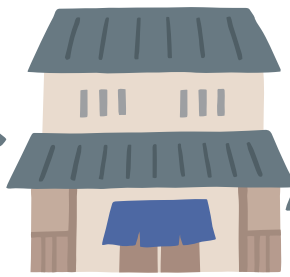
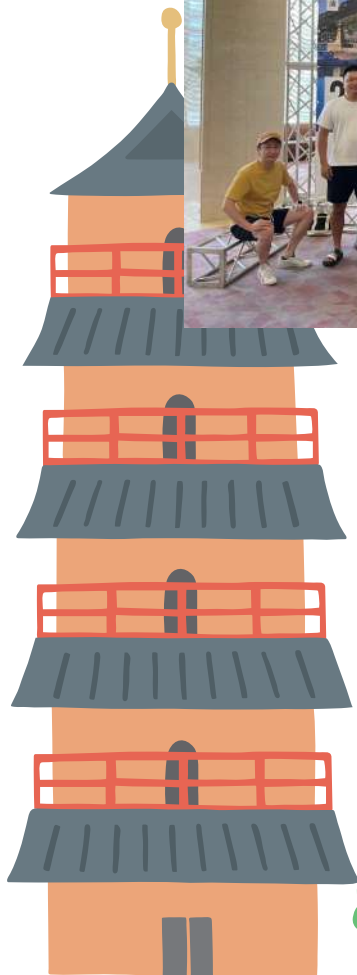


第41回全国城下町シンポジウム福山大会

第41回全国城下町シンポジウム福山大会は城下町福山の伝統と創造を発信することで全国の城下町に活力を与える大会とします。



形を変えながら受け継がれてきた伝統を、「先進性」「多様性」「創造性」「持続性」の4つの価値として捉え、城下町としての背景に、各地域でのまちづくりにおける未来の創造に向けた一歩となる大会とします。(大会ホームページより)



9月18日（日）に開催を予定しておりました60周年記念式典・祝賀会につきまして台風接近の予報を受け中止とさせていただきます。

唐津青年会議所メンバー一同、皆様と過ごす時間を楽しみにしており、開催当日まで準備をまいりました。皆様の安全を考慮した結果の苦渋の決断でした。

しかし、日頃よりお世話になっている地域の皆様や関係各団体、先輩諸兄姉、全国の同志と共に、唐津青年会議所の60年の歩みを語りあい、これからの唐津青年会議所の未来ビジョンを共有させて頂くためにも、創立60周年記念特別動画を製作いたしました。動画が完成次第 Youtube 限定配信をさせていただきますので是非ともご視聴いただき創立60周年の節目の年を祝っていただければと思います。

今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

